

1 施設概要

- ① 位 置 : 千葉市美浜区ひび野1丁目、ひび野2丁目、美浜及び豊砂地先
- ② 都市計画決定面積 : 71.9ha
- ③ 供用済み面積 : 67.9ha
- ④ 公園全体のテーマ : みどりと海のシティパーク
- ⑤ 主 な 施 設 : 広場、噴水、日本庭園(見浜園)、茶室(松籟亭)、マリンスタージアム、マウンテンバイクコース、松林、駐車場等

2 経 過

昭和56年11月20日	都市計画決定
昭和56年12月26日	都市計画事業認可
昭和62年 4月 1日	京葉線より陸側の部分を供用開始
平成 元年 2月 1日	京葉線の海側の大芝生広場等を供用開始
平成 2年 3月24日	マリンスタージアム供用開始
平成 2年 4月 1日	マリンスタージアム前等の駐車場を供用開始
平成 2年 6月16日	見浜園及び松籟亭を供用開始
平成 4年 3月	海側のブロックについて、事業提案協議により事業予定者(海のシルクロード 代表企業(株)フジタ)が決定
平成 7年8月~10月	全国都市緑化フェアが開催されました。
平成 8年 3月25日	海側のブロックのうち全国都市緑化フェアの跡地と浜田川の習志野側の部分の一部(マウンテンバイクコース、芝生広場等)を供用開始
平成 9年12月	レゴ社が幕張海浜公園をテーマパーク(レゴランド)の候補地に選定し、2002年の開園を目指す旨を発表
平成10年 3月	海のシルクロード(株)から事業者辞退の申し出がなされました。
平成14年度	NPO法人に委託し「公園の夢を語り夢を描く」というワークショップを実施(県民参加公募)
平成15年 6月	レゴ社から幕張進出を断念する旨説明がなされた。
平成15年度	NPO法人に委託し、県民参加のもとでワークショップ、公園まつりイベント、シンポジウムを実施し、「公園づくりへの提案」を作成
平成16年度	海側のブロックについての、整備計画案と管理運営計画案に関する調査を実施
平成17年4月1日	海側のブロックのうち松林等を供用開始

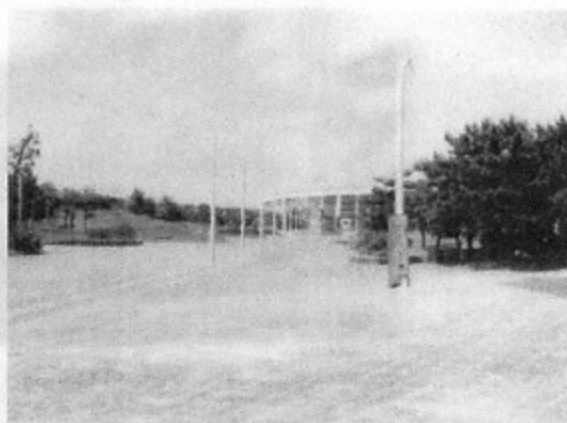
3 海側のブロックの利用状況

◇ 日常の利用としては、周辺の方々の散策等に利用されているほか、休日毎にインラインスケート等を楽しむ方々があります。

[現況]



入り口付近



マリンスタージアム方向

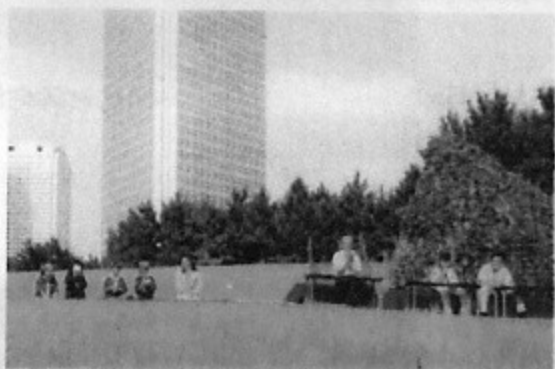


幕張の浜と松林

[インラインスケートでの利用状況]



◇ また、NPO等の主催による利用イベント等が定期的実施されています。
 [NPO主催による「幕張海浜公園まつり」の状況]



野点

デイキャンプ



インラインスケート

犬のしつけ教室

[松林を利用した「まっ白い広場（子供の自由な遊び）」イベント]



松林自然体験教室・松林の説明

木の実の工作



落ち葉の道づくり



松林の中での遊び

◇ このほか、東京モーターショーの際に、クリーンエネルギー車の試乗会の会場やコンサートイベント「サマーソニック」の会場としての利用も行われました。

特別企画

SPECIAL EVENT

クリーンエネルギー車同乗試乗会

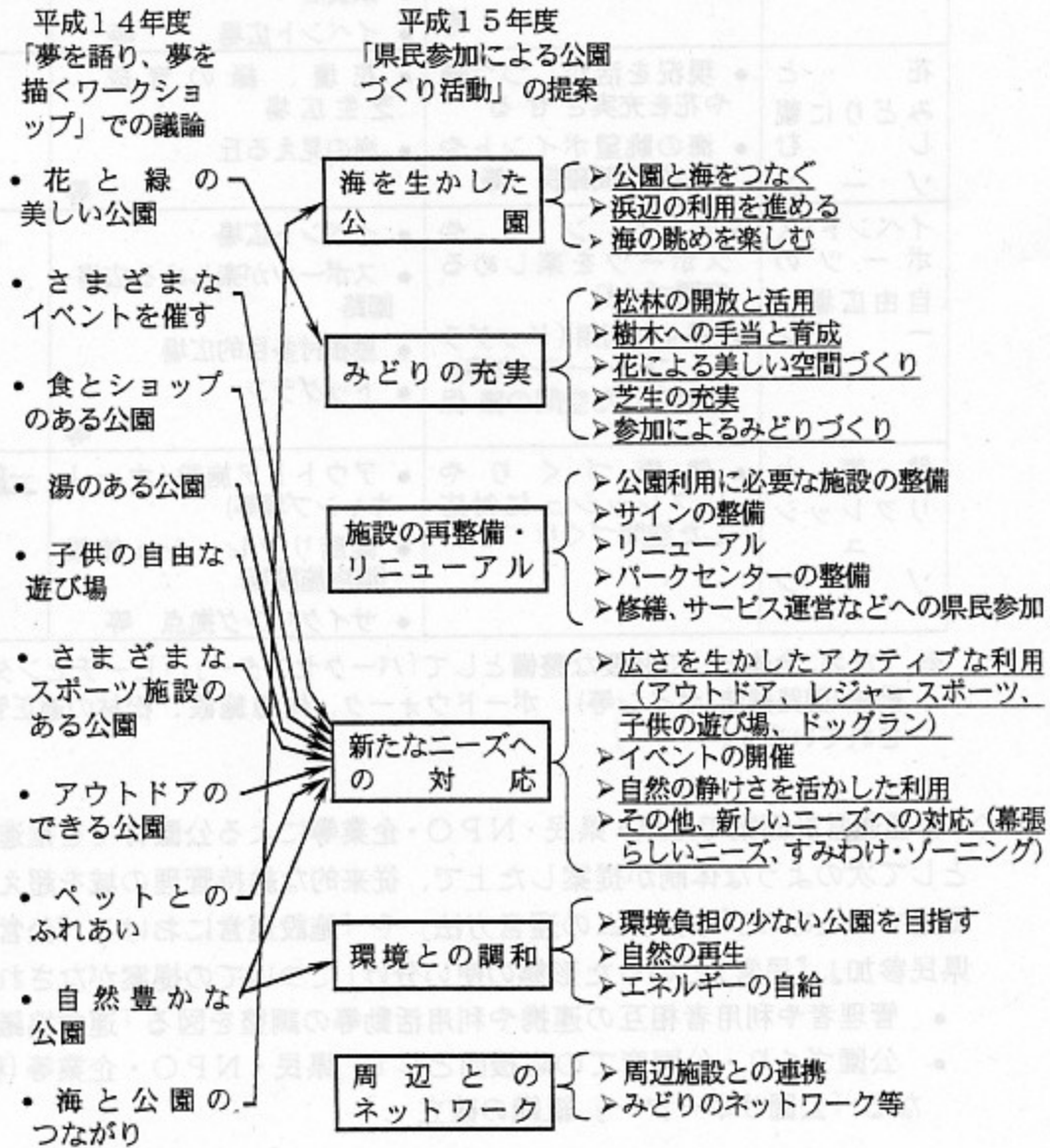


東京モーターショー クリーンエネルギー車試乗会の状況

4 海側のブロックの整備に向けた経過

- 幕張海浜公園海側のDEブロックについては、以前から民間活力を導入した整備により、幕張の賑わいづくりの一翼を担おうとしていましたが、平成14年度に、それまで進出を検討していたレゴ社（レゴランド）が正式に撤退したこと等を契機として、平成14年度から「県民参加型での公園づくり」の検討を進めてきました。
- その結果、平成15年度までに、「海を活かした公園」、「みどりの充実」、「レジャースポーツやドッグラン等の新たなニーズへの対応」といった県民からの提案がまとめられました。

(なお、これと併せて、当該検討作業に携わったNPO法人からは、県民参加を継続するための組織を作るべきである旨の提案がなされました。)



○ これらを受けて、平成16年度に、地元企業や住民代表等による検討会や県民参加によるワークショップにより、整備や管理運営の計画案を取りまとめました。

◇ 整備計画案ではテーマ、土地利用、整備手法等が提案されました。

テーマ：海とみどりを感じられるにぎわいのある公園

～県民が参加する幕張型パークマネジメント実践の場～

土地利用：4つのゾーン(機能)を設定〔下表参照〕

整備手法：民間活力の導入と県民参画による整備

ゾーン名	整備方針	導入施設イメージ例	備考
にぎわいとシンボルのゾーン	● マリンスタジアムと連携した賑わいの空間・シンボルづくり等	● シンボル施設(観覧車、大型モニュメント等) ● 飲食店 ● イベント広場等	一部民活導入
花とみどりに親むゾーン	● 現況を活かしつつ緑や花を充実させる ● 海の眺望ポイントや静かな空間確保等	● 花壇、緑の育成、芝生広場 ● 海に見える丘等	
イベント・スポーツの自由広場ゾーン	● イベントやスポーツを楽しめる空間づくり ● 様々な利用(ドッグラン、プレーパーク等)に対応した空間の確保	● イベント広場 ● スポーツが楽しめる広場・園路 ● 屋根付多目的広場 ● ドッグラン等	
健康とリフレッシュゾーン	● 健康づくりやリフレッシュに対応した空間づくり	● アウトドア施設(オートキャンプ場等) ● 健康リフレッシュ施設(温浴施設等) ● サイクリング拠点等	一部民活導入

※ なお、全体として必要な整備として「パークセンター」、「ビーチセンター」、海への動線(園路舗装・サイン等)、ボードウォーク、休憩施設、松林の適正管理等が提案されています。

◇ 管理運営計画案では県・県民・NPO・企業等による公園育てを推進する仕組みとして次のような体制が提案した上で、従来の維持管理の域を超えた「利用を促進するためのプログラムの運営方法」や「施設運営における『公営』、『公営+県民参加』、『民営』といった形態の使い分け」についての提案がなされています。

- 管理者や利用者相互の連携や利用活動等の調整を図る「運営協議会」の設置
- 公園づくり・公園育ての応援団として、県民・NPO・企業等(利用者)からなる「公園サポーター」組織の確立

5 海側のブロックの整備計画に係る県の方針

○ 平成16年度の整備計画に係る調査で提案された、テーマ、土地利用、整備手法の内容は、本年度幕張新都心活性化プロジェクトの一環で行った新都心関係者との意見交換の結果とも合致することから、今後、海側のブロックの整備はこの案を基に取組んでいくこととしました。(別紙図参照)

○ そして、この度、「民間活力の導入と県民参画による公園整備」の実現に向け、民間企業の導入方策等の検討を、新都心関係者や学識経験者等による「幕張海浜公園(海側)整備研究会」を設けて進めていくこととしました。

幕張海浜公園海側のブロックの整備について

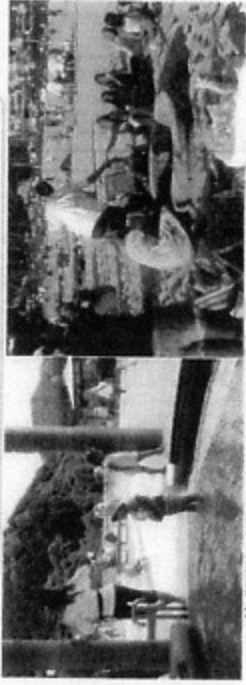
◎ 平成16年度に住民代表や地元企業等の参加を得て整備計画案を策定
〔整備計画での提案概要〕

- テーマ：海とみどりに感じられるにぎわいのある公園
～県民が参加する幕張型パークマネジメント実践の場～
- 土地利用：4つのゾーンを設定
- 整備手法：民間活力の導入と県民参画による整備

幕張メッセ



健康とリフレッシュゾーンのイメージ



施設例 (温浴施設)

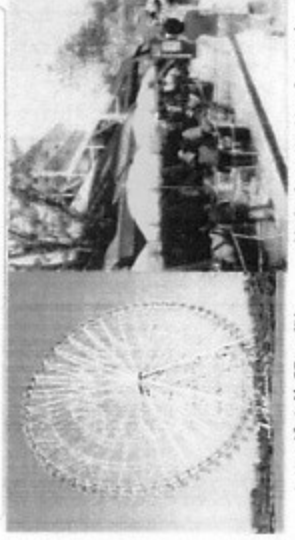
海辺のバーベキュー

花とみどりに親しむゾーン



県民参加の花壇づくり

にぎわいとシンボルのゾーン
民間活用



シンボル施設の例

飲食店の例 (オリーブカフェ)

イベント・スポーツの自由広場ゾーン



市民参加の松林管理とプレーパーク

インラインスケートのイベント

健康とリフレッシュゾーン
民間活用

イベント・スポーツの自由広場ゾーンのイメージ

幕張の浜

花とみどりに親しむゾーンのイメージ

にぎわいとシンボルのゾーンのイメージ